



2025年4月4日

各 位

会 社 名 株式会社リーガルコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 青野 元一
(コード番号：7938 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役管理本部管掌 白崎 裕公
(TEL 047-304-7081)

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、持続的な成長と企業価値向上のために、取締役会の実効性を評価・分析し、課題を認識し改善を図る目的で、取締役会の実効性評価を行っております。今年度（2025年3月期）の結果の概要および、前年度（2024年3月期）の結果から抽出された課題に対する取り組み状況について、下記の通りお知らせいたします。

1. 評価の方法

全取締役ならびに全監査役を対象にアンケート方式にて、実施いたしました。

- ・実施日時：2025年1月～3月 アンケート作成、回収、評価・分析および課題抽出
2025年3月 「取締役会の実効性評価」確定

- ・評 価 者：全取締役ならびに全監査役（10名）

- ・評価項目：5部構成・全34問

設問ごとに4段階評価および自由記述方法

最高位は4、最低位は1となり、4に近づくほど評価は高くなっています。

(4：十分なされている、3：ある程度なされている、2：不十分、1：なされていない)

2. 前年度結果より抽出された検討施策に対する今年度の取り組み状況

- ①最高経営責任者、役員や役員後継者に求められるスキルバランスを考慮した多様性のある人材の確保と、体系的な幹部候補育成システムの構築。

⇒役員後継者候補として執行役員7名を選任し、取締役会で決議した経営方針に基づいて担当業務の執行責任者として業務を執行する経験を積ませております。執行役員の就任時に、役員に必要な知識を体系的にマスターするための新任役員向けトレーニングプログラムを受講しております。また、その他の各管理職（部長・課長）向けに外部講師によるマネジメント研修を行い、幹部候補育成を図りました。

②重要議案に対する理解促進のための事前説明、情報提供および議論の場の提供と、当社の事業への理解も含めた常勤・社外役員の情報交換・情報共有の場の提供。

⇒取締役会付議議案について、資料は原則会期 3 日前を目途に事前配布を行いました。取締役会までに社外役員への説明と理解促進への取り組みは不十分との指摘がありました。

重要議案への理解促進のためにも、重要議案については、議案上程前の準備段階での説明と質疑応答などの実施、内容を修正すべき点があれば議案に反映させるなどの工夫も必要とのご指摘がありました。

3. 今年度評価結果の概要および課題

	今年度（前年度）	
全評価	3.1	(3.2)
第1部「取締役会の構成」	3.3	(3.4)
第2部「取締役会の運営」	3.3	(3.5)
第3部「取締役会の議題」	2.9	(3.0)
第4部「取締役会を支える体制」	3.2	(3.0)
第5部「株主（投資家）との対話」	2.7	(2.8)

当社の取締役会は概ね適切に機能し、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。

一方で、取締役会の実効性をより高めるために、次の点を課題として認識いたしました。

- ①社外役員へ当社事業への理解促進や業績の状況把握のための情報提供や、常勤役員と社外役員間の十分な意思疎通を図るための環境の提供
- ②重要議案等に対する審議時間を十分に確保するための取締役会開催頻度の検討、および審議事項について理解促進を図るための事前説明・予備説明など、十分な議論が行えるような運営方法の見直しの検討

4. 今後の取組み

当社取締役会は、評価・分析結果を踏まえて上記の課題に適切に対応していくことによって、取締役会がより高い実効性を確保できるように努めてまいります。

また、中・長期的な課題についても、引き続き取締役会で検討し、取締役会全体の実効性の評価・分析を継続的に続けることにより、コーポレートガバナンスの強化と企業価値の向上に努めてまいります。

以上